

にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

～ 九州発信 ～

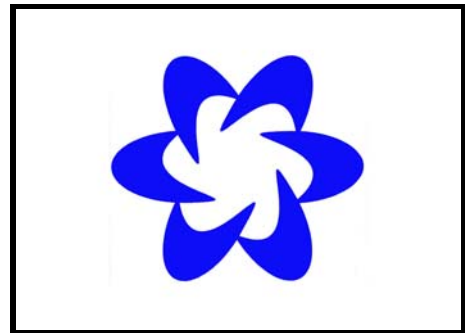
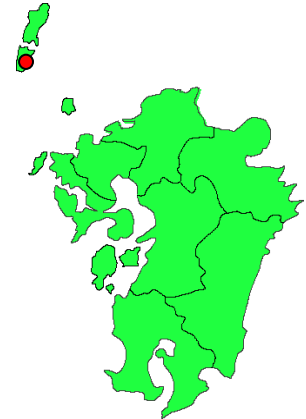
会員だより(巖原町)

～ 対馬6町の合併により対馬市が誕生 ～

平成16年3月1日、対馬6町（上対馬町・上県町・峰町・豊玉町・美津島町・巖原町）が合併し、「対馬市」が誕生しました。同日午前8時より暫定に設置されます対馬市役所本庁前（旧巖原町役場）において、旧6町長、職員等が参集し「開庁式」が開催されました。

平成12年8月1日に合併協議会が設置され、協議会事務局が開設されて以来、合併協議会、地区の意見交換会等の実施により島民のニーズ等把握し、さまざまな協議がなされ、幹事会、専門部会等により事務事業の一元化が図られ、新生「対馬市」がスタートしました。

開庁式において、対馬市長職務執行者である佐伯英雄前豊玉町長は式辞において、対馬島民への深いご理解と関係各位の賢明なるご英断に敬意を表すると共に、新市建設の将来像を「アジアに発信する歴史海道都市対馬」と位置付け、将来像に沿った街づくりを目指すことを表明しました。



対馬市市章

○当面のスケジュール案（対馬市誕生後）

- 3/8～ 臨時議会
- 3/21 市長選告示
- 3/28 市長選挙
- 4/ 定例議会
- 6上旬 対馬市誕生記念式典
定例議会

デザインの趣旨

対馬市の「つ」の頭文字をモチーフに『アジアに発信する歴史海道対馬』をイメージさせるもので、6つの「つ」の文字は、合併する6町を意味するとともに対馬の歴史と未来への発展をつなぐたゆまない時間の流れを表現しています。



開庁式（旧巖原町役場前）



対馬市役所庁銘板除幕式

○対馬市の各機関所在等

	所在地	TEL	FAX
対馬市役所	対馬市厳原町国分1441	0920-53-6111	0920-53-6112
厳原支所	対馬市厳原町国分1441	0920-52-1211	0920-52-5604
美津島支所	対馬市美津島町鶏知甲550-2	0920-54-2271	0920-54-4396
豊玉支所	対馬市豊玉町仁位380	0920-58-1111	0920-58-0317
峰支所	対馬市峰町三根451	0920-83-0301	0920-83-0431
上県支所	対馬市上県町佐須奈甲567-3	0920-84-2311	0920-84-2310
上対馬支所	対馬市上対馬町比田勝575-1	0920-86-3111	0920-86-4529
保健福祉事務所	対馬市豊玉町仁位380	0920-58-2294	0920-58-2755
議会事務局	対馬市豊玉町仁位380	0920-58-1379	0920-58-0317
教育委員会	対馬市上対馬町比田勝575	0920-86-3211	0920-86-4433
農業委員会	対馬市上県町佐須奈甲567-3	0920-84-2401	0920-84-2401

レポート(九州地方整備局港湾計画課)

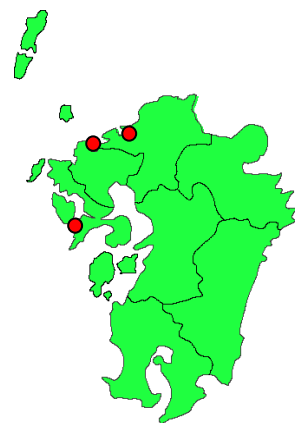
～ 九州各地で女性との意見交換会を実施 ～

九州地方整備局では、これからの「みなとづくり」において「市民に身近な港や海辺について、住民・NPO参加型のみなとづくり・海辺づくりを進める。」ために、地域の人々、特に女性の意見を積極的に取り入れることを推進しています。そこで、九州の「みなと」と深い関わりを持っているNPO法人「九州キラキラみなとネットワーク」の方々とともに、九州全県を巡り、各地元で活躍されている女性達との意見交換を行いました。各地元の女性メンバーには、ヨットのオリンピックメダリストや回漕店の方など「うみ」や「みなと」と深い関わりを持っている方から、婦人会の方や主婦など「みなと」とあまり関わりを持っていない方まで様々な女性を選出し、地元の「みなと」に対して感じていることや望むことなどについて様々な視点から活発な意見交換を行いました。

当ネットワークの会員である長崎県(9月)、佐賀県(11月)及び福岡市(12月)においても意見交換を行うとともに、海上から港湾の見学をしてもらい、地元の「みなと」についてより知って頂く機会を設けました。

各地の意見交換会では、『広報活動としてタウン情報誌やミニFMなどの主婦に密着した広報媒体も考える必要がある』や『広報は受け止める側が「知った」と認識することが広報であり、情報の一方通行は広報とは言わない』など、現在の広報のあり方に対する意見や『公園の駐車料金の代わりに、草刈やゴミ拾いなど実労で支払ってもらえば良いのではないかな』などの公共施設の管理費軽減策など、メンバーの方々から貴重な意見を頂きました。また佐賀県での意見交換会では、地元ケーブルテレビや地元新聞社の取材も受け、良いPRの機会にもなりました。

今後は、今回の意見交換会の意見を尊重しつつ、地域の人々・観光客等全ての人々が利用しやすい「みなとまちづくり」の推進に努めたいと思います。



意見交換会風景



海上視察風景

レポート(唐津港湾事務所)



～ カブトガニ永遠に ～

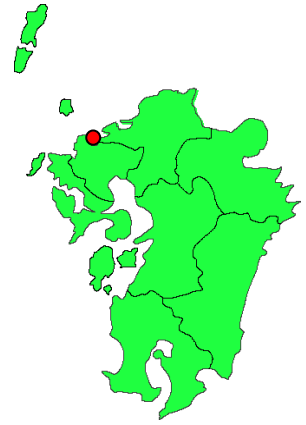
伊万里湾の環境保全のシンボルとして「カブトガニを守る会」(原田久美会長)が12月6日、絶滅の危機にあるカブトガニの記念碑を伊万里駅前広場に建立し、伊万里市長も出席した除幕式がありました。記念碑は、



カブトガニ産卵地清掃(6月)
伊万里ライオンズクラブHPより抜粋

高さと幅がそれぞれ約2メートルの中国福建省産の御影石で、産卵期に雌雄が上下に重なるつがい状のカブトガニが彫刻してあります。台座には「海は伊万里の宝物」と記したプレートが付いており、費用は約150万円。同会は、伊万里ライオンズクラブ

(<http://www1.ocn.ne.jp/~imari-lc/>)などが中心となって活動し、毎年、シーズンに産卵場の多々良海岸の清掃をしています。伊万里湾は国内最大級の繁殖地ですが、年々減少しており、今年は127つがいと過去10年で最低でした。序幕式で原田会長は「記念碑のように、伊万里湾のカブトガニも永久に生き続けられるよう、市内外の人が環境を再認識する機会としてほしい」と述べられました。



記念碑

編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

TEL 0832-24-4126

担当: 那須、島田

FAX 0832-24-4137